

奄美群島振興開発基金の概要及び 奄美群島の経済状況、金融情勢について

奄美群島振興開発基金の概要

奄美群島振興開発基金の概要

設置目的

奄美群島振興開発特別措置法（以下、「奄美法」という。）に基づき設置され、奄美群島における産業の振興開発を促進し、奄美群島の経済の発展に寄与するため、振興開発計画に基づく事業に必要な資金を供給すること等により、一般の金融機関が行う金融を補完し、又は奨励することを目的とする。（奄美法第44条）

※ 主務大臣は国土交通大臣、財務大臣

沿革

- 昭和28.12 奄美群島が日本に返還
 - 昭和29.6 奄美群島復興特別措置法制定
 - 昭和30.9 奄美群島復興信用保証協会（保証業務）
 - 昭和34.3 奄美群島復興信用基金（融資業務追加）
 - 昭和39.4 奄美群島振興信用基金（改称）
 - 昭和49.4 奄美群島振興開発基金（改称）
 - 平成元.4 出資業務創設
 - 平成16.10 独立行政法人奄美群島振興開発基金設立
 - 平成18.3 出資業務廃止（特殊法人等整理合理化計画）
- ※ 奄美法の存置期限：H31.3末（時限法）

出資金

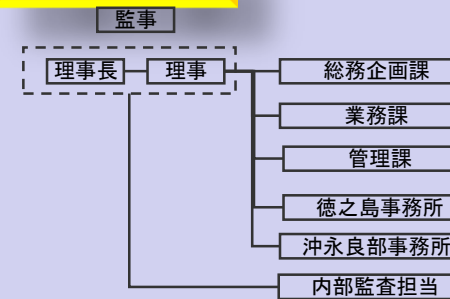
平成28年度末現在：177億円

【内訳】

国（※）	： 110億円（61.9%）
鹿児島県	： 46億円（26.0%）
群島内市町村	： 21億円（12.1%）

（※）S59年まで一般会計、S60年からH27まで財政投融资特別会計。

組織



※平成30年3月現在
 役員数：2名（監事（非）2名除く）
 常勤職員数：18名

業務概要

保証業務

- 奄美群島において振興開発計画に基づく事業を行う者又は奄美群島に住所若しくは居所を有する者が金融機関から貸付等を受ける際に金融機関に対して負担する債務の保証を行う。

第二次、第三次産業のみならず、第一次産業に対しても保証する等、信用力に乏しい中小規模の事業者等が金融機関から円滑に貸付を受けられるよう、きめ細かな信用保証を実施。

〔28年度実績：5億円 年度末保証残高：27億円〕

融資業務

- 奄美群島において振興開発計画に基づく事業を行う中小規模の事業者で銀行その他の金融機関からの資金の融通を受けることを困難とするものに対する小口の事業資金の貸付及び政令で定める事業を行う事業者に対する事業資金の貸付けを行う。

農林水産業、大島紬等特産品製造・販売業、観光業など、地域の特性を生かした産業に融資を実施。

〔28年度実績：15億円 年度末融資残高：51億円〕

(参考)主な融資事例

○第一次産業

- ・サトウキビの刈り取りを行う農業用機械の購入資金等



- ・新規就農者に対する起業資金
- ・ハウス建設に要する資金等



○第二次産業

- ・大島紬製造者の製造体験施設併設等事業多角化への資金等

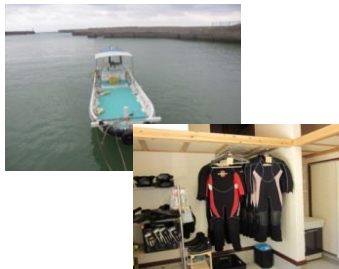


- ・食料品製造事業者に対する、自社製造食品及び地域食材を活かした飲食店開業資金等



○第三次産業

- ・観光ガイド、ダイビングインストラクター等への新規起業資金等 (Iターン者含む)



- ・地域のコミュニティFMの開設に係る資金等



奄美群島の経済状況、金融情勢について

奄美群島経済と金融の情勢のポイント

1. 奄美群島の経済情勢

データ出典：鹿児島県資料

■経済規模（郡内総生産）

- ・S40～60にかけて急激に増加、H10からは微減傾向
- ・H12以降、各年3,300～3,500億円で推移（H25：3,240億円）

■基幹産業

<第1次産業>

- ・農業（サトウキビ、畜産、野菜、畜産、果樹等）
- ・サトウキビは減少傾向であったが、近年、台風被害も少なく持ち直し
- ・**畜産は市場相場が高値安定しており好調**
- ・野菜（馬鈴薯、さといもなど）を中心に温暖な気候を利用した産地作りを推進（※馬鈴薯は早出しの先発産地）
- ・タンカン、マンゴーなどの高付加価値品目の生産拡大を推進

<第2次産業>

- ・黒糖焼酎…H14～H18頃の焼酎ブーム以降は安定した推移
- ・大島紬業…和装需要の低迷により不振が続く
S55：288億円 → H27：4億円
- ・建設業…総生産額 H8：527億円 → H25：275億円

<第3次産業>

- ・**観光関係：H26LCC就航等により入込客が増加、H30世界自然遺産登録予定、H30よりNHK大河ドラマ「西郷どん」放映中**

■事業所数、所得水準

- ・中小零細事業者割合が高い
- ・1人あたり所得水準
209万円（全国：287万円、鹿児島県：240万円、H26時点）

■有効求人倍率

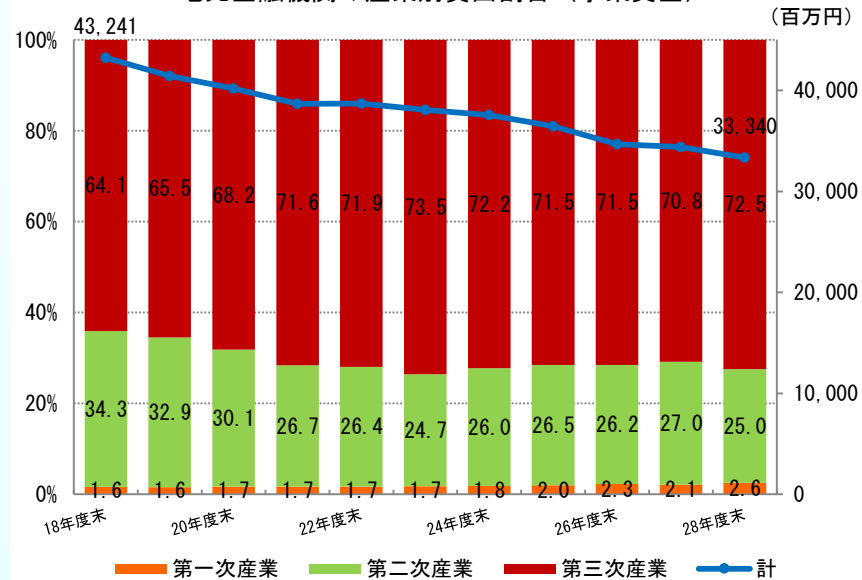
- ・医療・福祉、宿泊業、卸・小売業の求人が顕著で全体の求人倍率を押し上げている

2. 域内における金融の実態

■金融機関数

- ・地銀1行（7店舗）、第2地銀1行（1店舗）、地元信金・信組（各14店舗）、農協、労金
- ・鹿児島市内に日本政策金融公庫、商工中金
- ・鹿児島県信用保証協会は、群島を対象に通常業務はなし

地元金融機関の産業別貸出割合（事業資金）



※地元金融機関＝奄美群島内に本店登記のある金融機関

■群島内貸出残高に占める奄美基金の割合は4.4%

- ・地元金融機関、政府系金融機関等を含む奄美群島の総貸出残高は1,986億円、うち奄美基金は87億円、4.4%の割合となっている。

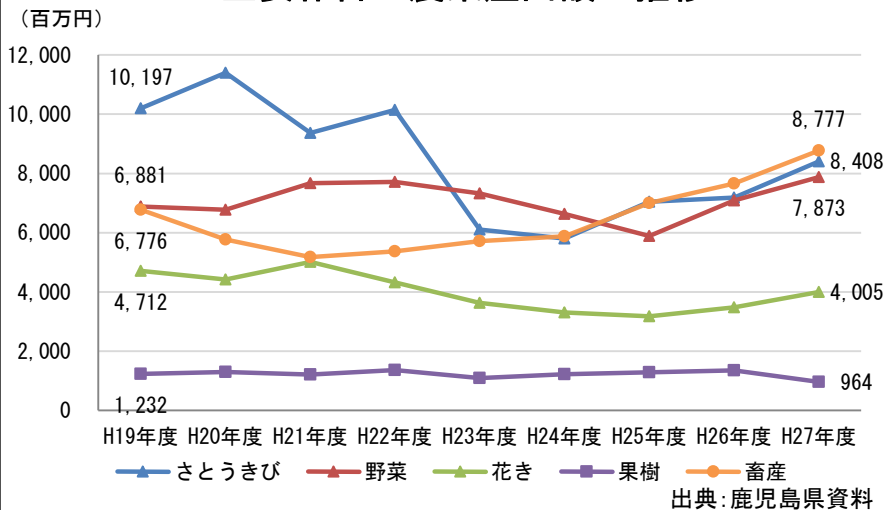
■リスク管理債権比率

- ・群島内各金融機関は2.6%～6.3%
（全預金取扱金融機関平均は1.8%）

奄美群島の経済状況（一次産業）

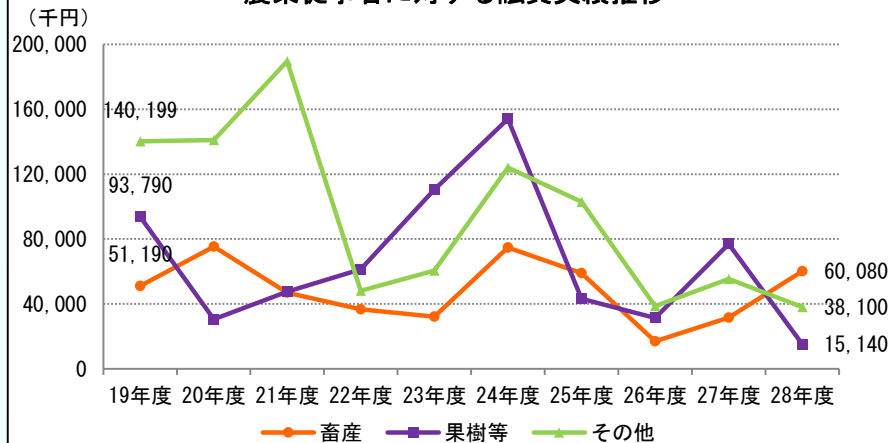
農業

主要作目の農業産出額の推移

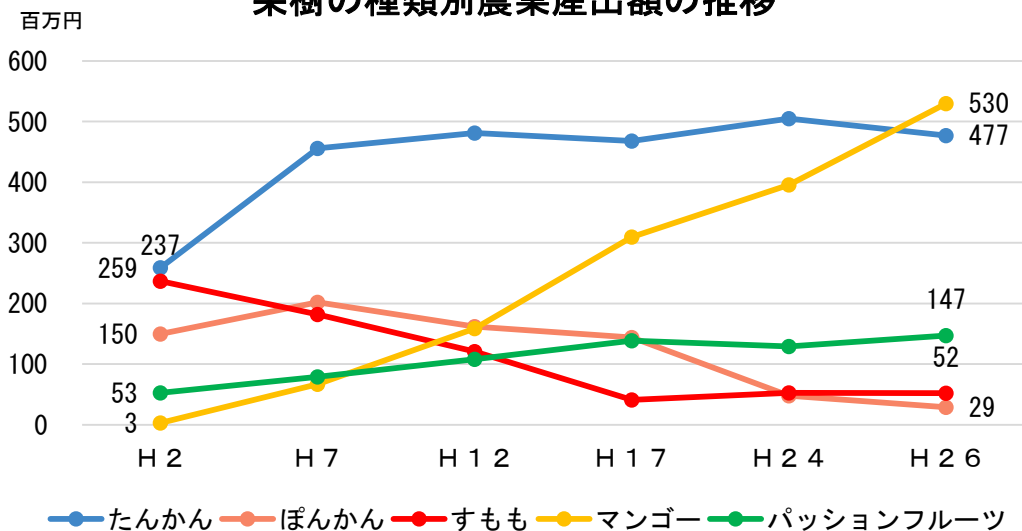


※参考（奄美基金における状況）

農業従事者に対する融資実績推移

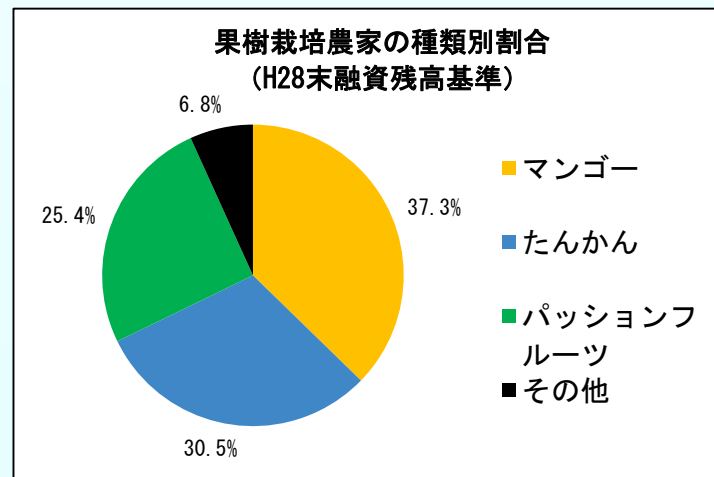


果樹の種類別農業産出額の推移



出典：鹿児島県資料

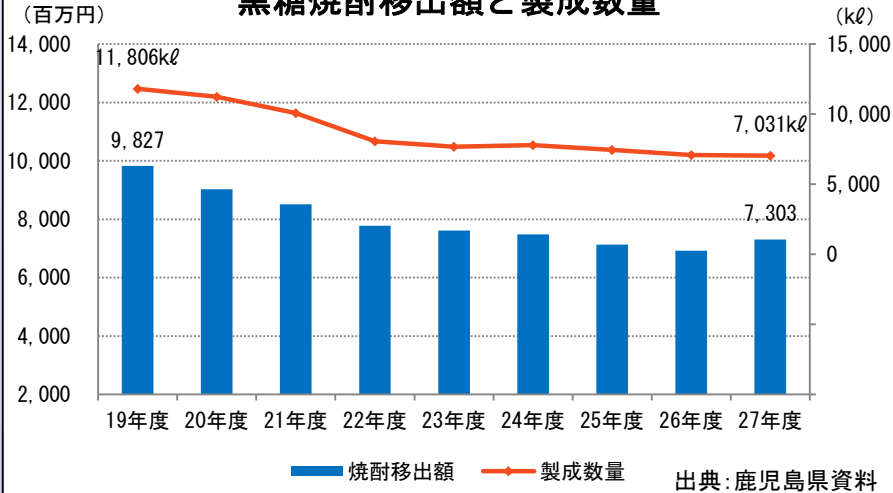
果樹栽培農家の種類別割合 (H28末融資残高基準)



奄美群島の経済状況（二次産業）

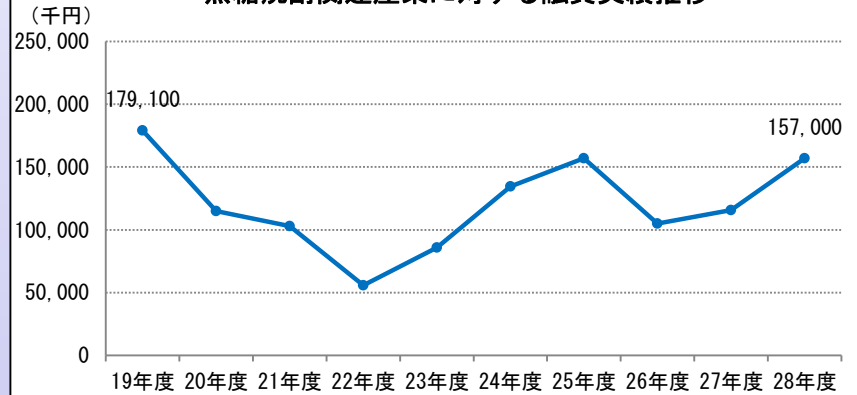
黒糖焼酎

黒糖焼酎移出額と製成数量



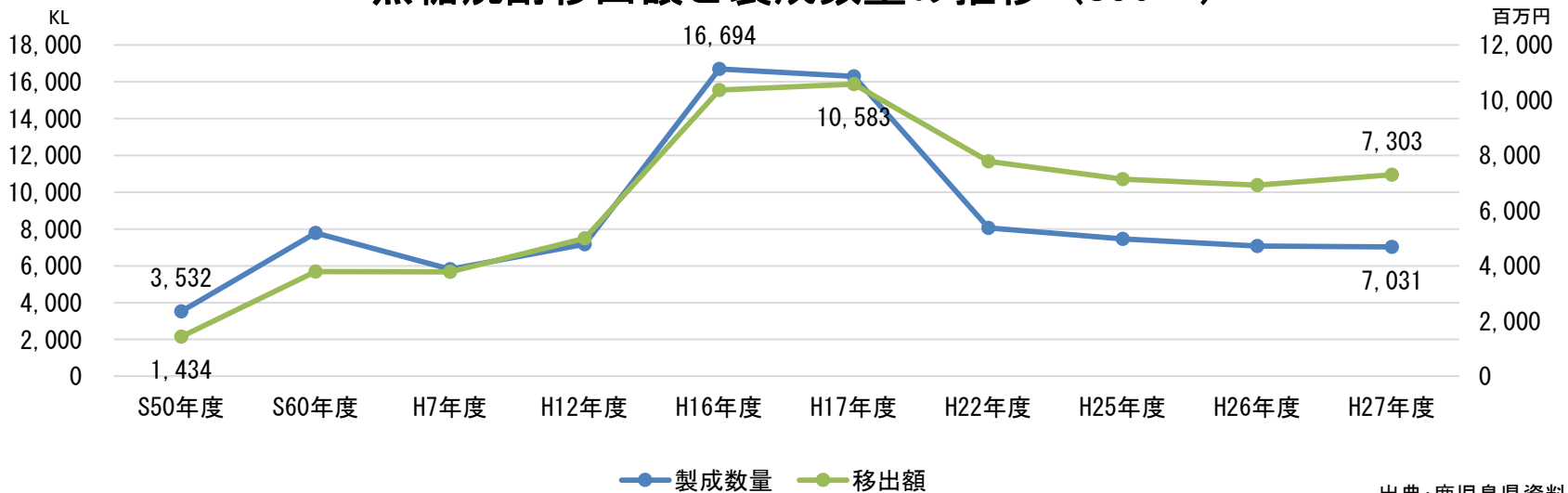
※参考（奄美基金における状況）

黒糖焼酎関連産業に対する融資実績推移



※参考 S50からの推移

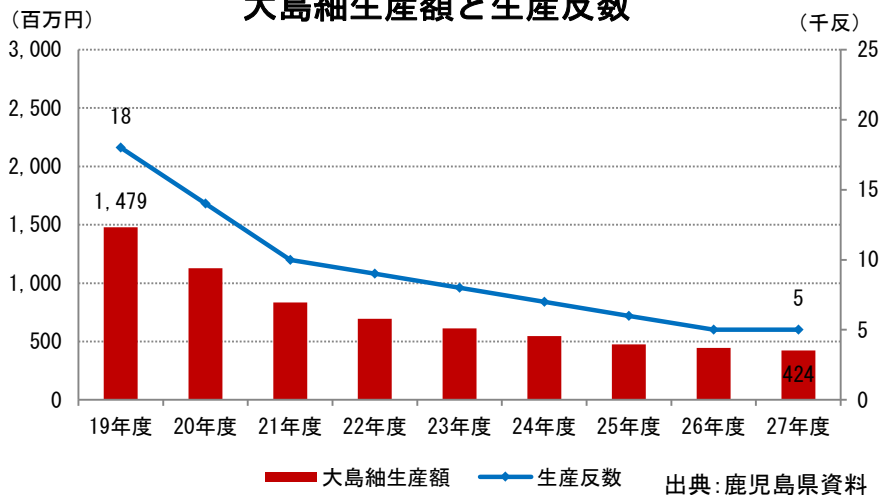
黒糖焼酎移出額と製成数量の推移（S50～）



奄美群島の経済状況（二次産業）

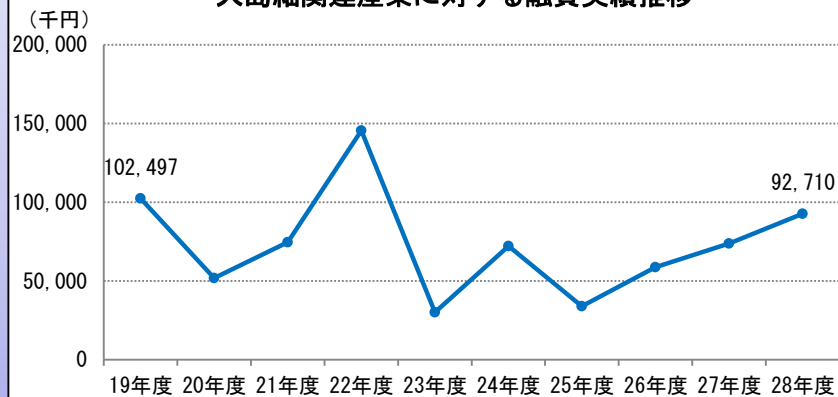
大島紬

大島紬生産額と生産反数



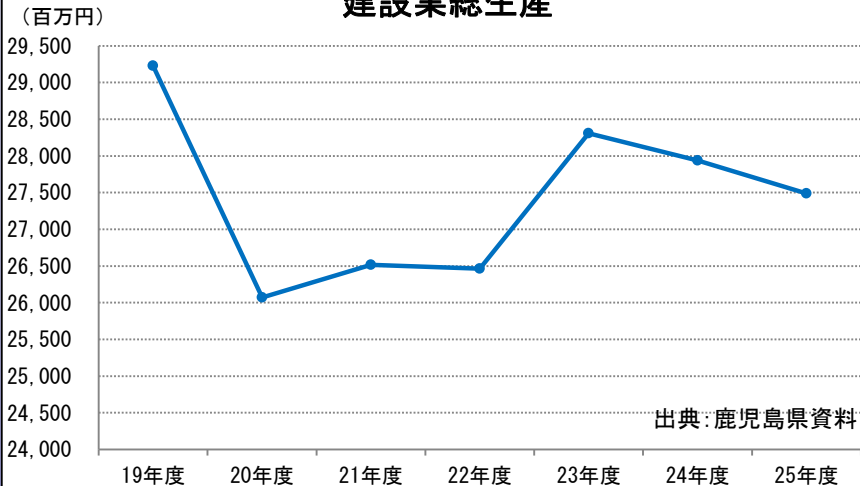
※参考（奄美基金における状況）

大島紬関連産業に対する融資実績推移



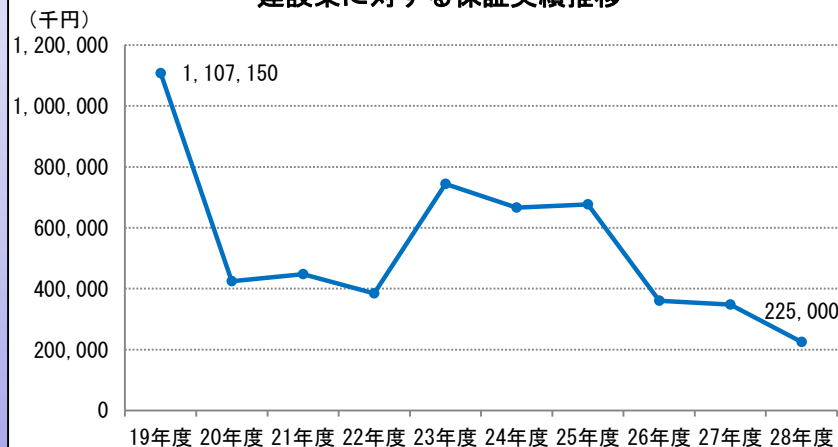
建設業

建設業総生産



※参考（奄美基金における状況）

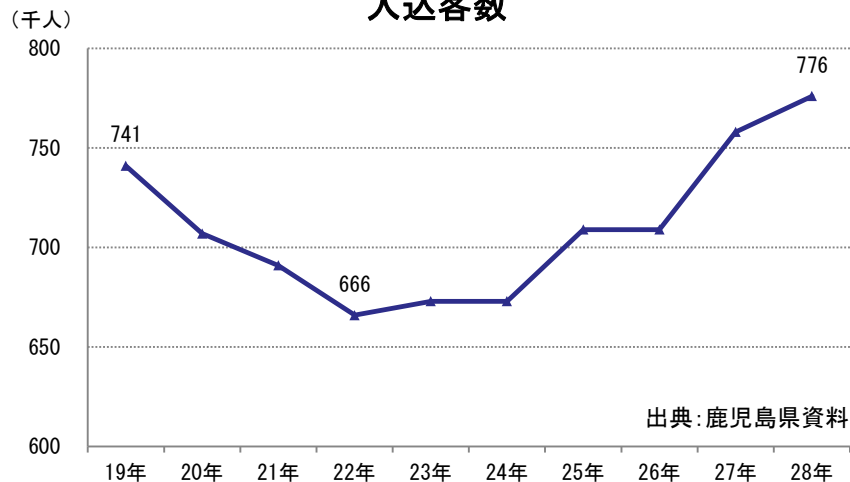
建設業に対する保証実績推移



奄美群島の経済状況（三次産業）

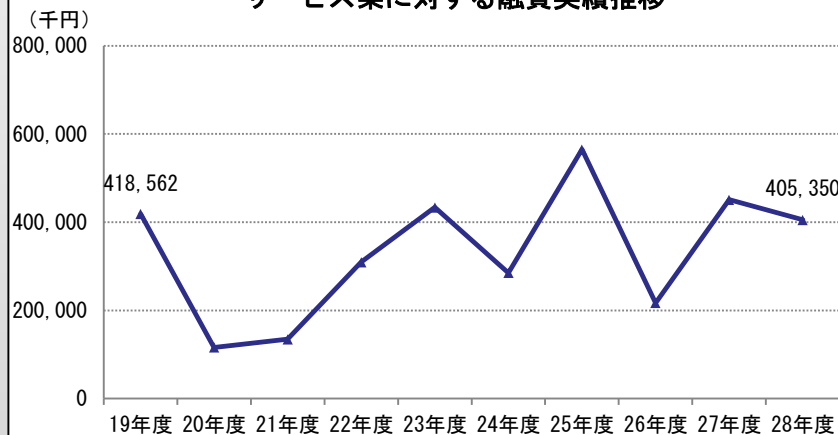
観光

入込客数



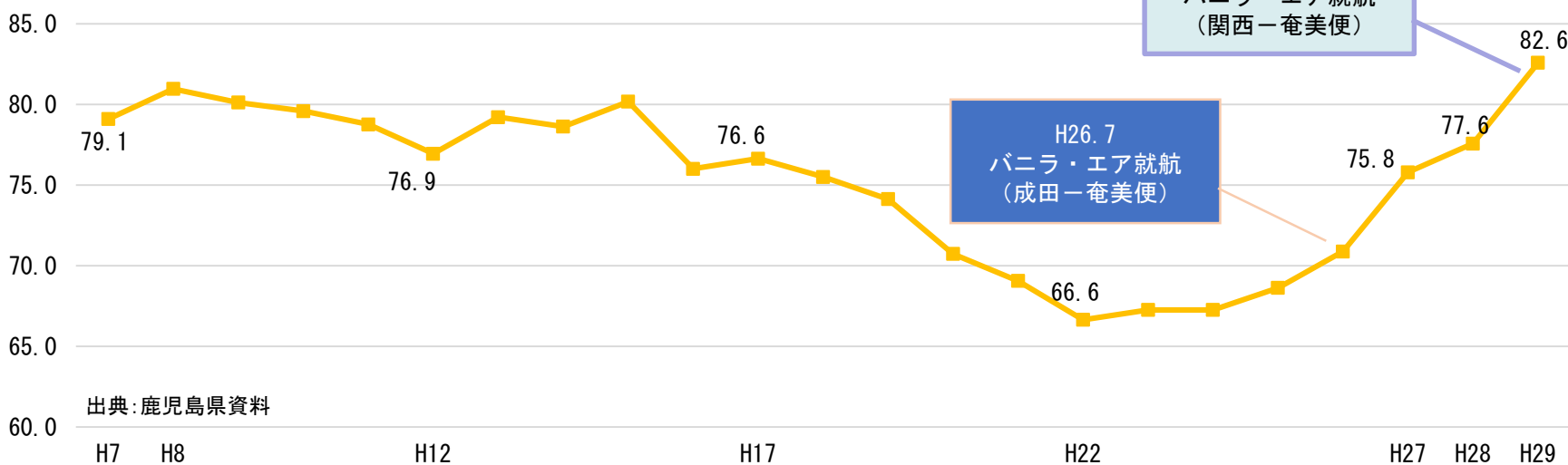
※参考（奄美基金における状況）

サービス業に対する融資実績推移



※参考 H7からの推移 (万人)

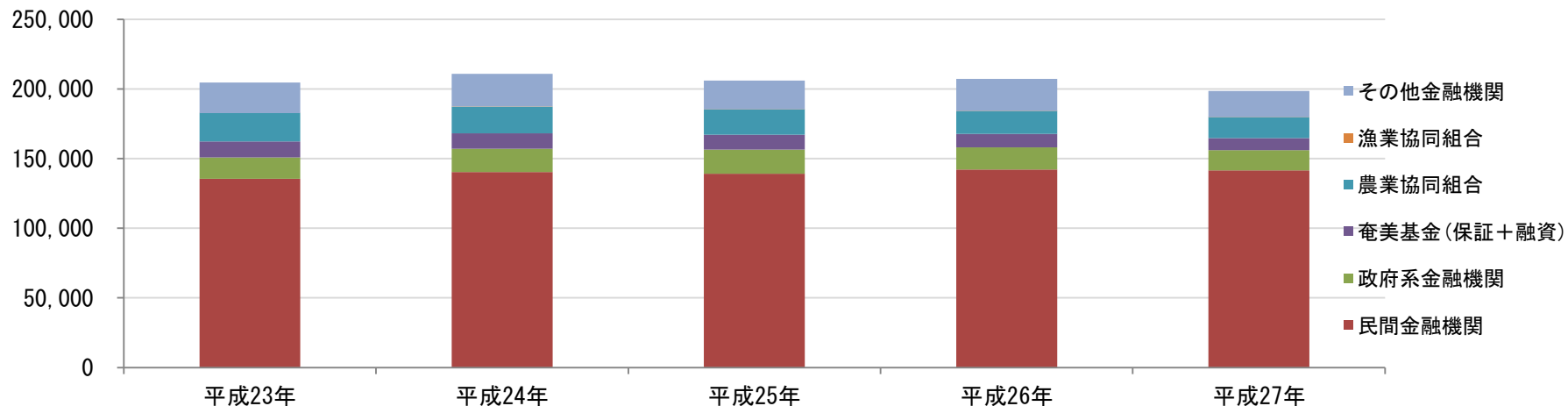
奄美群島の入込客数の推移



奄美群島内の金融情勢（群島内の貸出残高の状況）

奄美群島内の貸出残高は、平成27年度末時点で1,986億円。
このうち、奄美基金の保証・融資の残高は87億円、全体に占める割合は4.4%。

○奄美群島内の貸出残高の状況（単位：百万円）



○奄美群島内の貸出残高の状況（詳細）

（単位：百万円）

	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
民間金融機関	140,254	68.5%	145,136	68.8%	143,728	69.7%	145,924	70.4%	144,742	72.9%
うち奄美基金の保証付	4,731	2.3%	4,764	2.3%	4,491	2.2%	3,794	1.8%	3,163	1.6%
政府系金融機関	21,999	10.7%	23,083	10.9%	23,527	11.4%	21,792	10.5%	19,967	10.1%
うち奄美基金（融資）	6,621	3.2%	6,428	3.0%	6,361	3.1%	5,745	2.8%	5,535	2.8%
農業協同組合	20,460	10.0%	19,180	9.1%	18,239	8.9%	16,590	8.0%	15,121	7.6%
漁業協同組合	25	0.0%	24	0.0%	23	0.0%	38	0.0%	34	0.0%
その他金融機関	21,909	10.7%	23,437	11.1%	20,549	10.0%	22,975	11.0%	18,710	9.4%
合計	204,647	100.0%	210,860	100.0%	206,066	100.0%	207,319	100.0%	198,573	100.0%
奄美基金（保証）／民間金融機関		3.4%		3.3%		3.1%		2.6%		2.2%
奄美基金（融資）／政府系金融機関		30.1%		27.8%		27.0%		26.4%		27.7%
奄美基金（保証+融資）／合計		5.5%		5.3%		5.3%		4.6%		4.4%

※政府系金融機関は日本政策金融公庫、商工中金、日本政策投資銀行、奄美基金